教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 生活環境学科　　資格： 教授　　氏名： 澤渡　千枝

研究分野	研究内容のキーワード
繊維・高分子科学，被服材料学	繊維，高分子，セルロース，フィルム，構造と物性，改質，機能化
学位	最終学歴
工学博士，学術博士，家政学修士	奈良女子大学大学院（博士課程）人間文化研究科生活環境学専攻　修了

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.遠隔授業および遠隔・対面併用授業における授業方法の検討	2020年5月12日～現在	COVID-19への対応で必然的に遠隔授業を実施したが，この機会にオンライン授業，オンデマンド授業，オンデマンド/オンライン/対面のハイブリッド授業を試み，それぞれの利点を活かした授業改善を実施した．ハイブリッド授業においては学習効果の向上も認められた． オンデマンド視聴教材は，学生が実験実習の予習・復習に活用できることを念頭に置いて作成し，年度更新しながら提供している．
2.視覚と体験を重視するとともにITを活用した授業実践	2017年4月～現在	講義において，文字情報だけでなく視覚資料や実物呈示によって学生の理解を深め，興味関心を促す工夫を行っている．必要に応じてインターネット上の有用サイトの最新情報を紹介，授業資料のmwu.jpへのアップロードも，予習・復習に役立つタイミングを工夫しつつ，活用中．
2 作成した教科書、教材		
1.『家庭基礎』　開隆堂（高等学校家庭科用［9/ 開隆堂/ 家庭045］）	2006年3月3日	高等学校家庭科の教科書担当部分：第２部　２章　２被服の素材，３被服の管理と安全：pp.125-137，編修著作者：金田利子他30名，開隆堂出版
2.『家庭総合』　開隆堂（高等学校家庭科用［9/ 開隆堂/ 家庭036］）	2006年3月3日	高等学校家庭科の教科書担当部分：第２部　２章　２被服の素材，３被服の管理と安全：pp.149-161，編修著作者：金田利子他30名，開隆堂出版
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.博士論文指導実績	2001年3月(学位取得年月) 2002年3月	静岡大学大学院電子科学研究科／課程博士(工学) 2名の研究指導を行った．うち，1名は日本人で卒業研究からの継続指導．他1名はタイからの留学生で，研究生（修士レベル）からの受け入れ学生．
4 その他		
1.指導学生（M1）の日本家政学会関西支部　若手優秀発表賞受賞	2023年10月14日	日本家政学会関西支部研究発表会 発表題目 ：着るナタデココ　3種の食用オイルによるバクテリアセルロースのレザーライク化（口頭発表）
2.静岡大学農学部　非常勤講師	2019年4月1日2019年9月30日	期間中，地域創造学環指定科目「生活と防災の高分子科学」（2単位）の授業を行った．
3.静岡大学教育学部　非常勤講師	2018年10月2019年1月	担当科目　化学測定法基礎　１単位
4.指導学生の日本家政学会関東支部長賞受賞	2018年2月16日	第20回家政学関連卒業論文・修士論文発表会（口頭発表） 発表題目：メチルセルロースのゾルーゲル転移に及ぼす塩及びpHの影響（卒業研究）
5.指導学生の日本家政学会関東支部長賞受賞	2016年2月20日	第18回家政学関連卒業論文・修士論文発表会（口頭発表） 発表題目：家庭用ミシンにおけるニット縫製条件の検討（卒業研究）
6.指導学生の日本家政学会関西支部　若手優秀発表賞受賞2件	2015年10月25日	日本家政学会関西支部研究発表会 発表題目 1)：γ線照射を経た PET 布の緑茶染色による抗菌性評価 発表題目 2)：衣生活領域における中学生を対象とした素材の性質を視覚的に学べる教材の検討
7.指導学生（修士）の Poster Paper Award	2014年9月29日	繊維学会　International Symposium on Fiber Science and Technology (ISF2014)

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
8.指導学生の日本家政学会関東支部長賞受賞	2014年2月22日	Title: Evaluation on antibacterial activity and deodorization effect of textile fabrics and fibers dyed with green tea. 第16回家政学関連卒業論文・修士論文発表会（口頭発表） 発表題目：肌の衛生・健康から考える被服材料の快適性（卒業研究）

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.局所排気装置等定期自主検査養成講習修了	2006年7月26日	国立大学法人静岡大学
2.有機溶剤作業主任者技能講習修了	2003年9月12日	静岡労働局長指定第1の12号
3.特定化学物質等作業主任者技能講習修了	2003年8月29日	静岡労働局長指定第1の11号
4.衣料管理士(テキスタイルアドバイザー) 1級	1980年3月31日	日本衣料管理協会
5.中学校教諭２級普通免許　教科理科	1980年3月31日	兵庫県教育委員会
2 特許等		
1.高分子材料とその製造方法	2015年7月28日	ポリ(L-乳酸)などの高分子材料を炭素-炭素間二重結合に共役するカルボニル基をもつ分子の存在下に電離性放射線で照射し，カルボニル基を導入した．これを起点にした化学修飾により機能付与を可能にした． 担当部分:発案および実験全般の25%, 澤渡千枝，新宅江梨奈，豊嶋恭衣，八木達彦；特願2015-148235
2.生分解性プラスチック複合体およびその製造方法	2009年5月14日	ポリ(L-乳酸)布とバクテリアセルロースとの複合化方法を提案した．担当部分:発案および実験全般の30%, 菅野尚子，田村克浩，澤渡千枝，日本公開特許公報，JP 2009102755 A 20090514.
3.High resolution low dose transmission electron microscopy real-time imaging and manipulation of nano-scale objects in the electron beam.	2008年3月13日	電子顕微鏡の電子銃を用いた照射により，ポリプロピレンなどの高分子材料の微細加工を行う手法．担当部分:発案および実験全般の25%, R. M. Brown, Jr., Z. Barnes, C. Sawatari, T. Kondo; U.S. Patent, 2008, US 7335882 B1 20080226. US20080061249 A1
4.化学修飾側鎖を有する高分子材料，および高機能化された高分子材料	2000年8月8日	ポリエチレンをガスの共存下でγ線照射した後，多官能基側鎖修飾する方法，担当部分:発案と実験全般の30%, 澤渡千枝，中田徳美，八木達彦;特願平11-137135
5.機能化高分子の合成方法	1996年3月28日	セルロースのアリル化を経た化学修飾法により，任意の性質を付与する方法，担当部分:発案および実験全般の50%, 澤渡千枝,八木達彦; 特願平02-189452,特許第2034881
6.耐熱性の改良されたポリエチレン成型物の製法	1985年6月23日	有機過酸化物架橋剤による架橋反応を，配向結晶化過程で生じさせ，高強度/高耐熱性ポリエチレンを作成する方法．担当部分：発案以外の実験部分全て， 松生勝，澤渡千枝；特願昭60-134355，特許第1940868号
7.新規な高分子化合物および発水性の付与方法	1985年6月23日	木綿布表面のアルキル化によって木綿の吸湿性を損なわずに耐久性の撥水性を付与する方法， 担当部分:発案および実験全般の40%, 澤渡千枝，八木達彦，柴田秀人；特願平06-340018ほか
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.（海外研修）カナダMcGill大学化学科 博士研究員	1990年5月1991年8月	セルロースと合成高分子とのブレンドに関する研究に従事
4 その他		
1.生活環境学科　学科長	2022年4月1日～現在	
2.男女共同参画推進室長	2020年4月1日～2023年3月31日	武庫川女子大学男女共同参画推進室長に就任（兼務） 武庫川学院３代目の男女共同参画推進室長として，「男女共同参画推進宣言」に掲げられた業務活動の推

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
		進等のほか，女性活躍総合研究所との情報共有および必要事項の協働に携わった．
3.静岡県工業技術研究所 食品科外部研究員	2020年3月2日2020年3月2日	静岡県外部研究員招聘事業 に基づき，外部研究員として静岡県工業技術研究所 食品科において科員向けの講義「セルロースナノファイバーと食の安全性」を行った． 加えて，科員の研究論文に関する相談に応じた．
4.機器分析センター設立構想プロジェクトリーダー	2019年3月～現在	2019年度教育改善・改革プランに「機器分析センター設立構想委員会の新設」を申請し採択された．全学共同利用の機器分析センターの設立可能性を検討する．
5.静岡大学「女性研究者の研究力向上のための集中研修会」アドバイザー	2018年9月4日	静岡大学男女共同参画推進室が企画した「女性研究者の研究力向上のための集中研修会」にアドバイザーとして出講し，科学研究費の申請書類の添削・相談に応じた．
6.静岡大学 名誉教授	2018年4月	国立大学法人静岡大学 から名誉教授の称号を受けた．
7.静岡県工業技術研究所 工芸科（ものづくり支援チーム）外部研究員	2018年2月～2018年10月	期間中３回，外部研究員として静岡県工業技術研究所工芸科の要請に応じて講演または技術相談に応じた．
8.科学技術振興機構(JST)女子中高生の理系進路選択支援プログラム「理系女子 夢みっけ☆応援プロジェクト in しずおか」 実行委員長	2016年6月～2018年3月31日	計画内容に従ってhttp://www.rikeshizu.sankaku.shizuoka.ac.jpにホームページを立ち上げ，静岡県内の女子中高生を対象にプロジェクトを実施した．
9.静岡大学 副学長（男女共同参画推進担当）および男女共同参画室長	2015年4月1日～2017年3月31日	大学運営に各委員会委員として参加したほか，JST(科学技術振興機構）日本女性研究者研究活動支援事業（拠点型）「未来を拓く明日への架け橋 ～レインボープラン～」の最終年度を引き継いで実施し，男女共同参画推進室 浜松分室の設置や育休期間代替教員雇用制度等を整備した．
10.静岡大学 入学者選抜方法研究部会委員	2012年4月～2014年3月	
11.静岡大学 農学部テニュアトラック審査委員会委員	2011年11月～2017年3月	
12.静岡大学 浜松キャンパス共同利用機器センター運営委員会委員	2010年4月～2012年3月	
13.静岡大学 国際交流センター運営委員会委員	2010年4月～2012年3月	
14.静岡大学 全学入試センター入試企画広報部門会議委員	2010年4月～2012年3月	
15.静岡大学 全学入試センター運営会議委員	2009年4月～2010年3月	
16.静岡大学 全学入試会議委員	2008年4月～2010年3月	
17.静岡大学 大学教育センター科目部運営委員（学際科目部）	2005年4月～2009年3月	
18.静岡大学 イノベーション共同研究センター運営委員会委員	2004年4月～2005年3月	
19.静岡大学 サテライトベンチャービジネスラボラトリ運営委員会委員	2002年4月～2003年3月	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.子どもがいきる家庭科	共	2010年4月	開隆堂	家庭科教師および学生向けの教科書．担当部分；2．第II部 2章 生活の科学と家庭科の基礎知識 13 被服の手入れの意義と必要性(p.164)，16 着装と被服の機能(p.167)，17 被服の繊維・糸・布の仕組みを再現(p.168)，18 繊維の性質と着心地(p.169)，３章 国民の生活課題先端科学 1 環境共生の繊維科学(p.180)，吉原崇恵編著
2.第５版 実験化学講座３-基礎編III 物理化学（下）	共	2003年10月	丸善	学生および初心者向けの実験書．担当部分；赤外分光光度計を用いた高分子の測定実験例と測定時の注意事項を透過スペクトルおよび全反射スペクトルについて示し，解説した．（pp15-27 1.3身の回りにある高分子のスペクトル測定），日本化学会編
2 学位論文				
1.Morphology and mechanical properties of	単	1990年7月31日	東京工業大学 工学博士	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
semicrystalline polymeric systems as a function of temperature				
2.Studies on the drawability of crystalline polymers with different molecular weights	単	1987年3月24日	奈良女子大学 学術博士	
3 学術論文				
1.Modified Vonk's method to determine crystallinity and crystal distortion in polymers（査読付）	共	2018年5月	*Journal of Macromolecular Science, Part B* 57(5), 317-332 Published online : 08 May 2018.	Asano, T., Sano, S., Okabe, T., Sano, T., Itagaki, H., Sawatari, C., Mina, Md. F. 担当：10% 討論と引用データ提供. Vonkの手法を修正することにより，広角X線回折(WAXD)結果から，結晶化度と結晶の乱れを見積もった．Vonkの手法では，結晶化度はWAXDの散乱角0度に外挿し，結晶の乱れは外挿曲線の傾きから求めるが，本報告で提案した修正法では，最小二乗法によって同時に求める．この手法の有効性はポリエチレンとポリエチレンテレフタレートの実験データへの適用によって検証され，さらに結晶の乱れについて二種類の要素に分けた議論が可能となった.
2.素材の性質を官能的に学べる実験教材の検討 -中学校衣服（繊維の吸水性/速乾性）の授業実践をとおして-（査読付）	共	2016年3月	教科開発学論集 **4**, pp. 89-100.	中谷文香，澤渡千枝 担当：研究指導と論文指導. 中学校家庭科の衣服の学習において，繊維素材の吸水性と速乾性に関わる性質の理解に役立つ実験教材を提案・評価した．開発教材は素材の性質を捉える上で有用と判断された.
3.Poly(L-lactic acid)/bacterial cellulose composites produced under the cultivation of acetobacter.（査読付）	共	2009年9月	*Proceedings of the 10th Asian Textile Conference* (ATC-10, Nagano Japan). (CD-ROM)	Moriyama,F., Kanno, N., Suzuki, S., Sawatari, C. 担当：研究指導と論文指導. 酢酸菌培養液中にポリ-L乳酸(PLLA)編布を浸漬してバクテリアセルロースとの複合化を図った．PLLAのプラズマ処理条件によって表面の親水性が異なり，複合化状態も良好になった.
4.Laser light and X-ray diffraction studies of oriented isotactic polypropylene (iPP) prepared by temperature slope crystallization.(査読付)	共	2009年7月	*J. Macromol. Sci., Part B*, **48**, 774-788.	Asano,T., Furusho, T., Alam, M-F.,Tamba, Y., Sawatari, C., Mina, M-F. 担当；主に偏光顕微鏡観察. ポリプロピレンフィルムを温度勾配下で結晶化させるとα晶，β晶はそれぞれ結晶a*軸およびa軸が温度勾配方向に配向した．この試料の温度上昇過程を光回折とX線回折，偏光顕微鏡で観察した．温度上昇にともない，β晶のねじれ周期は2段階で増加した．90-100℃での増加はラメラ内部での厚化，120℃以上ではラメラの部分融解-再結晶によるラメラの厚化と考えられた.
5.Polymer manipulation and nanofabrication in real time using transmission electron microscopy.（査読付）	共	2007年1月	*Biomacromolecules*, **8**, 70-76.	Brown Jr., R. M., Barnes, Z., Sawatari, C., Kondo, T. 担当；超延伸試料の作成と基本物性の測定に関する実験と考察. 時間分解透過型電子顕微鏡観察の過程で，配向セルロースフィルムおよび超延伸ポエリエチレンの電子線に対する興味深い挙動を認めた．これらから，電子線による損傷を最少限に留めた高分子試料のナノオーダー加工法を提案した.
6.Crystal structure and smectic crientation of a mesogenic compound.（査読付）	共	2004年12月	*J. Macromol. Sci. Part B*, **43**, 6, 1263-1280.	Asano, T., Kondo, M., Natsume, M., Tsumagari, M., Alam, Md. M., Sawatari, C., Wurflinger, A. 担当；熱分析法による物性測定. 液晶を形成するポリエステル=3CNBOBの単結晶および溶融結晶化試料を作成し構造決定をおこなった．この試料は82.9℃から101.5℃では液晶状態となる．室温での結晶は単結晶と同様で，高温ではスメクチック状態から結晶化した.
7.A gelation	共	2003年8月	*Carbohydr.*	Sekiguchi, Y., Sawatari, C., Kondo, T.担当；研究指導と論文指

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
mechanism depending on hydrogen bonding formation in regioselectively substituted *O*-methyl celluloses. （査読付）			*Polym.*, **53**, 145-153.	導の70%. メチルセルロース水溶液のゲル-ゾル化過程で，疎水結合および水素結合がどのように関与するのかについて，置換度・置換位置の異なる試料を用いて，熱分析，X線散乱，加熱・冷却過程での近赤外分光法によって検討した．結果としてメチル基同士の疎水結合と6位のOH基同士の水素結合が協働してゲル化が進行すると推定された．
8. Interchain interaction in ultradrawing UHMWPE /tri-*O*-alkylcellulose blend film obtained by gelation/casting from solution. （査読付）	共	2003年7月	*Sen-i Gakkaishi*, **59**, 251-259.	Sawatari, C., Panbamurung, P., Kondo, T. 担当；研究指導と論文指導の90%. 超高分子量ポリエチレンと全置換のトリ-O-オクタデシルセルロースとの溶液ブレンドを行い，その延伸性と分子鎖の配向状態について検討した．ポリエチレンの分率が50%以上の試料が延伸可能で，75/25の試料では100倍まで延伸できた．赤外二色性により，延伸によってポリエチレン鎖，セルロース鎖，オクタデシル鎖が同様に延伸方向に優先的に配向することがわかった．
9. 生分解性高分子の初期結晶化機構	共	2003年3月	静岡大学理学部紀要，**37**，41-48.	浅野　勉，澤渡千枝，遠山知秀，小瀬亮太，伊藤二三男 担当；実験指導の30%. ポリ乳酸の初期結晶化過程をX線回折によって検討した．結晶化促進のために核剤を添加した試料では六方晶の結晶化が進行した．熱処理により結晶密度は増大し，実用化に耐える耐熱性が得られた．他の高分子をブレンドすることにより，耐衝撃性の改善も可能であった．
10. Relaxation behavior of ultradrawn poly (ethylene) film by temperature wave analysis. （査読付）	共	2002年3月	*J. Therm. Anal. Cal.*, **70**, 693-701.	Hashimoto, T., Morikawa, J. Sawatari, C. 担当；超延伸ポリエチレンフィルムの作成と基本物性測定. 超延伸ポリエチレンフィルムの熱による溶融と再配向挙動を，温度波熱分析法，光学顕微鏡測定によって解析した．熱拡散度はフィルム試料の両面に導電性の薄膜を密着させ，一方から変調を加えた交流電流を流して発熱させ、対面に発生させた応答曲線の位相と温度の関係または振幅と温度の関係より、該被測定試料板の熱分析を行うものである．この方法によって，これまで以上に精度のよい熱分析が可能となった．
11. A facile method of determination for distribution of the substituent in *O*-methyl-celluloses using 1H-NMR spectroscopy. （査読付）	共	2002年2月	*Polymer Bulletin*, **47**, 6, 547-554.	Sekiguchi, Y., Sawatari, C., Kondo, T. 担当；研究指導と論文指導の70%. メチルセルロースの置換基分布を決定する方法はいくつか報告されているが，ここではプロトンNMRを用いる簡便な方法を開発した．この方法での測定値はガスクロマトグラフによる分析値と一致した．
12. Hyperbranched modification of unsaturated side chains of polyethylene introduced by γ-ray irradiation under 1,3-butadiene atmosphere. （査読付）	共	2001年8月	*Colloid & Polym. Sci.*, **279**, 754-762.	Nakada, S., Sawatari, C., Tamura, K., Yagi, T.　担当；研究指導と論文指導の70% ブタジエン雰囲気でのγ線照射を経て，ポリエチレンにアミノ基またはその他の官能基を多分枝状に置換した．反応過程は赤外分光法，酸-塩基滴定，ニンヒドリン反応で確認した．表面多官能基修飾ポリエチレンの有用性についても論じた．
13. The effect of molecular weight of poly(ethylene oxide) on intermolecular	共	2001年3月	*Reports on The Graduate School of Electronic Science and Technology,*	Panbumrung, P., Sawatari, C.,　担当；研究指導と論文指導. ポリビニルアルコール=PVAの分子鎖同士の相互作用を弱め，加工性を高める目的で，分子量の異なるポリエチレンオキサイドをブレンドし，その希釈剤的効果を熱分析，赤外分光法，光学顕微鏡によって検討した．ポリエチレンオキサイドはブレンド後に溶出除去し

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
interaction of poly(vinyl alcohol) in their blends. （査読付）			*Shizuoka University*, **22**, 7-11	た．ブレンドによってPVAの結晶化度は20％以上低下し，延伸加工性が向上した．
14. Characterization of hydrogen bonds in *O*-methylcellulose / dimethyl sulfoxide /water system by FT-NIR analysis. （査読付）	共	2001年3月	*Reports on The Graduate School of Electronic Science and Technology, Shizuoka University*, **22**, 9-24	Sekiguchi, Y., Sawatari, C., Kondo, T. 担当；研究指導と論文指導の70%. 2,3位のOHを位置選択的に置換したものと，ランダム置換のメチルセルロースを用いてそのゲル化を，水-ジメチルスルホキシドの混合溶媒系で検討した．ジメチルスルホキシドが70重量％の溶媒では溶媒同士の相互作用が高く，溶解性が低下する事によりゲル化が促進された．近赤外分光法により，溶媒間および溶媒-試料間の水素結合状態を推定した．
15. Hyperbranched modification of unsaturated side chains of poly-ethylene introduced by γ-ray irradiation under 1,3-butadiene atmosphere. （査読付）	共	2001年1月	*Colloid & Polym. Sci.*, **279**, 754-762.	Nakada, S., Sawatari, C., Tamura, K., Yagi, T. 担当；30%
16. Durable flame retardant cotton fabric prepared by partial pyrophosphorylatio n and metal complexation（査読付）	共	2000年1月	*Textile Res. J.*, **70**, 1, 71-76.	Sekiguchi, Y., Sawatari, C., Yagi, T. 担当；60%
17. Crystallization of oriented amorphous poly (ethylene terephthalate) as revealed by x-ray diffraction and microhardness（査読付）	共	1999年12月	*Polymer*, **40**, 23, 6475-6484.	Asano, T., Balta Calleja, F. J., Flores, A., Tanigaki, M., Mina, F., Sawatari, C., Itagaki, H., Takahashi, H., Hatta, I. 担当；10%
18. Introduction of unsaturated pendant groups to polyethylene by γ-ray irradiation under 1,3-butadiene atmosphere（査読付）	共	1999年11月	*Colloid & Polym. Sci.*, **277**, 12, 1134-1141.	Nakada, S., Sawatari, C., Tomoda, W., Yagi, T. 担当；40%
19. Interchain hydrogen bonds in blend films of poly(vinyl alcohol) and its derivatives with poly(ethylene oxide). （査読付）	共	1999年6月	*Macromolecules*, **32**(6), 1949-1955.	Sawatari, C., Kondo, T.　担当；50%
20. Effect of homologous	共	1999年1月	*Jpn. J. Appl. Phys.* , **38**, 164-	Mina, M. F., Asano, T., Nuryadi, R., Sawatari, C., Takahashi, H., Hatta, I. 担当；10%

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
impurity on the solid-solid phase transition of normal-alkane (hexatriacontane) crystal studied by time-resolved X-ray measurements（査読付）			170.	
21. Durable water-repellent cotton fabrics prepared by low-degree substitution of long chain alkyl groups（査読付）	共	1998年7月	*Textile Res. J.*, **68**(7), 508-514.	Sawatari, C., Sekiguchi, Y., Yagi, T. 担当；50%
22. Interchain hydrogen bonds in cellulose/poly (vinyl alcohol) characterized by DSC and solid-state NMR analyses using cellulose model compounds（査読付）	共	1998年4月	*ACS symposium series*. No.688, Chapter 2(296-305)	Kondo, T., Sawatari C. 担当；50%
23. Physical and thermal properties of even n-alkanes	共	1998年2月	静岡大学理学部紀要 **32**, 53-63.	Mina, M. F., Asano, T., Sawatari, C. 担当；20%
24. A fourier transform infra-red spectroscopic analysis of the character of hydrogen bonds in amorphous cellulose（査読付）	共	1996年3月	*Polymer*, **37**, 3, 393-399.	Kondo, T., Sawatari, C. 担当；50%
25. Structure and mechanical properties of polyethylene - fullerene composites（査読付）	共	1996年1月	*J. Mater. Sci.*, **31**, 5153-5157.	Balta Calleja, F. J., Gili, L., Asano, A., Mieno, T., Sakurai, A., Ohnuma, M., Sawatari, C. 担当；10%
26. Intermolecular hydrogen bonding in cellulose /poly (ethylene oxide) blends: thermodynamic examination using 2,3-di-*O* - and *O* - methyl celluloses as cellulose model compounds（査読付）	共	1994年10月	*Polymer*, **35**, 20, 4423-4428.	Kondo, T., Sawatari, C. 担当；50%
27. Characterization of hydrogen bonding in	共	1994年1月	*Macromolecules*, **27**, 1, 210-215.	Kondo, T., Sawatari, C., Manley, R. St. J., Gray, D. G. 担当；30%

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
cellulose-synthetic polymer blend systems with crystallization substituted methyl cellulose (査読付)				
28. Drawability of poly(vinyl alcohol) films prepared by gelation/crystallization from semidilute solutions (査読付)	共	1993年5月	*Polymer*, **34**, 5, 956-966.	Sawatari, C., Yanagida, N., Yamamoto, Y., Matsuo, M. 担当；40%
29. Introduction of amino groups into cellulose via (2,3-dibromopropyl) cellulose under mild conditions (査読付)	共	1991年9月	*Sen-i Gakkaishi*, 47, 9, 467-475.	Sawatari, C., Yagi, T. 担当；60%
30. Crosslinking effect of ultrahigh molecular weight polyethylene - low molecular weight polyethylene blend films produced by gelation/crystallization from solution. (査読付)	共	1991年8月	*Colloid & Polym. Sci.*, **269**, 795-806.	Sawatari, C., Ozaki, F., Kimura, M., Ogita, T., Matsuo, M. 担当；30%
31. Morphological properties of ultra- high molecular weight polyethylene and low molecular weight polypropylene blend gel films. (査読付)	共	1991年7月	*Polymer J.*, **23**, 7, 871-884.	Ogita, T., Kawahara, Y., Sawatari, C., Ozaki, F., Matsuo, M. 担当；15%
32. Morphology and mechanical properties of high molecular weight nylon 6 drawn films and commercial melt spinning fibers (査読付)	共	1991年3月	*J. Home Econ. Jpn.*, **42**, 3, 251-264.	Matsuo, M., Sawatari, C., Yanagida, N., Morikawa, Y. 担当；30%
33. New aspects of the microstructure of PE/iPP gel blends as revealed by microhardness: Influence of	共	1990年12月	*Macromolecules*, **23**, 26, 5352-5355.	Balta Calleja, F. J., Santa Cruz, C., Sawatari, C., Asano, T. 担当；30%

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
composition.（査読付）				
34.Morphology and mechanical properties of polyethylene gel films prepared from decalin and p-xylene solutions（査読付）	共	1990年11月	*Sen-i Gakkaishi*, **46**, 11, 481-486.	Ogita, T., Suzuki, N., Ozaki, F., Sawatari, C., Matsuo, M. 担当；15%
35.Dependence of drawing conditions on the morphology and mechanical properties of nylon 6.（査読付）	共	1990年10月	家政学雑誌, **41**, 10, 975-983.	Sawatari, C., Katoh, M., Kojima, Y., Yanagida, N., Matsuo, M. 担当；30%
36.Mechanical properties of ultrahigh molecular weight polyethylene-polypropylene blend films produced by gelation/crystallization from solutions.（査読付）		1990年8月	*Polymer*, **31**, 8, 1456-1463	Matsuo, M., Sawatari, C., Iwai, Y., Ozaki, F. 担当；50%
37.Effect of molecular orientation distribution and crystallinity on the measurement by X-ray diffraction of the crystal lattice moduli of cellulose I and II（査読付）	共	1990年7月	*Macromolecules*, **23**, 7, 3266-3275.	Matsuo, M., Sawatari, C., Iwai, Y., Ozaki, F. 担当；40%
38.Morphological and mechanical properties of poly (ethylene terephthalate) gel and melt films in terms of the crystal lattice modulus, molecular orientation and small angle X-ray scattering intensity distribution.（査読付）	共	1990年6月	*Polymer J.*, **22**, 6, 518-538.	Matsuo, M., Sawatari, C. 担当；50%
39.Morphological and mechanical properties of ultrahigh-molecular -weight	共	1989年9月	*Polymer*, **30**, 9, 1603-1614.	Sawatari, C., Matsuo, M. 担当；60%

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
polyethylene /low-molecular weight polyethylene blend films produced by gelation/ crystallization from solutions.（査読付）				
40.Temperature dependence of crystal lattice modulus and dynamic mechanical properties of ultradrawn polypropylene films（査読付）	共	1989年7月	*Macromolecules*, **22**, 7, 2968-2973.	Sawatari, C., Matsuo, M.　担当；60%
41.Temperature dependence of crystal lattice modulus and the Young's modulus of polyethylene.（査読付）	共	1988年6月	*Macromolecules*, **21**, 6, 1653-1658.	Matsuo, M., Sawatari, C. 担当；50%
42.Mathematical treatment of the temperature dependence of the crystal lattice modulus and the Young's modulus of polyethylene.（査読付）	共	1988年6月	*Macromolecules*, **21**, 6, 1658-1664.	Matsuo, M., Sawatari, C. 担当；30%
43.Dynamic mechanical studies on crystal dispersion using ultradrawn polyethylene films.（査読付）	共	1988年5月	*Macromolecules*, **21**, 5, 1317-1324.	Matsuo, M., Sawatari, C., Ohhata, T. 担当；40%
44.Temperature-dependence of me-chanical and morphological proper- ties of ultra-high molecular weight polyethylene cross-linked by electron beam irradiation.（査読付）	共	1988年4月	*Colloid & Polym. Sci.*, **266**, 4, 316-323.	Sawatari, C., Nishikido, H., Matsuo, M. 担当；50%
45.ポリエチレン-ポリプロピレンブレンド超延伸試料の粘弾性の温度依存性（査読付）	単	1988年3月	静岡大学教育学部研究報告（自然科学編）, **38**, 143-151.	澤渡千枝
46.Cross-linking effect of polyethylene-	共	1987年12月	*Polymer J.*, **19**, 12, 1365-1376.	Sawatari, C., Matsuo, M.　担当；60%

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
polypropylene blend films prepared by gelation/crystallization from solution.（査読付）				
47.Development of high-modulus polyethylene with heat-resistant properties.（査読付）	共	1987年8月	*Macromolecules*, **20**, 8, 1745-1747.	Matsuo, M., Sawatari, C.　担当；50%
48.Morphological properties of ultra high molecular weight polyethylene-polypropylene blend films produced by gelation/crystallization from solutions.（査読付）	共	1987年5月	*Macromolecules*, **20**, 5, 1033-1041.	Sawatari, C., Shimogiri, S., Matsuo, M.　担当；40%
49.Crystal lattice modulus of polyethylene calculated as functions of crystallinity and molecular orientation by linear elastic theory.（査読付）	共	1986年11月	*Macromolecules*, **19**, 11, 2726-2732.	Sawatari, C., Matsuo, M.　担当；50%
50.Molecular weight dependence on the morphological properties of polyethylene gels.（査読付）	共	1986年10月	*Polymer J.*, **18**, 10, 741-758.	Sawatari, C., Okumura, T., Matsuo, M. 担当；50%
51.Ultradrawing of isotactic poly propylene films produced by gelation/crystallization from solutions.（査読付）	共	1986年10月	*Polymer J.*, **18**, 10, 759-774.	Matsuo, M., Sawatari, C., Nakano, T.　担当；40%
52.Elastic modulus of isotactic polypropylene in the crystal chain direction as measured by X-ray diffraction.（査読付）	共	1986年10月	*Macromolecules*, **19**, 10, 2653-2656.	Sawatari, C., Matsuo, M.　担当；60%
53.Cross-linking of ultra high	共	1986年7月	*Macromolecules*, **19**, 7, 2028-2035	Matsuo, M., Sawatari, C. 担当；50%

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
molecular weight polyethylene films produced by gelation/ crystallization from solution.（査読付）				
54.Elastic modulus of polyethylene in the crystal chain direction as measured by X-ray diffraction.（査読付）	共	1986年7月	*Macromolecules*, **19**, 7, 2036-2040.	Matsuo, M., Sawatari, C. 担当；50%
55.Ultradrawing of high molecular weight polyethylene films produced by gelation/ crystallization from solution; Effect of the number of entanglements.（査読付）	共	1985年11月	*Polymer J.*, **17**, 11, 1197-1208	Matsuo, M., Sawatari, C., Iida, M., Yoneda M. 担当；50%
56.Dynamic mechanical behavior of ultradrawn polyethylene films produced by gelation / crystallization from solution.（査読付）	共	1985年10月	*Colloid & Polym. Sci.*, **263**, 10, 783-790.	Sawatari, C., Matsuo, M. 担当；60%
57.ポリエチレンテレフタレートの熱処理に伴う結晶化度ならびに光散乱像変化（査読付）	共	1985年9月	家政学雑誌, **36**, 9, 696-703.	澤渡千枝, 寺田貴子, 松生 勝 担当；40%
58.Dependence of thermal crystallization of poly(ethylene terephthalate) on active mobility of amorphous chain segments.（査読付）	共	1985年9月	*Textile Res. J.*, **55**(9), 547-555.	Sawatari, C., Matsuo, M. 担当；60%
59.Two-dimensional mathematical treatment of small -angle light scattering from a system of periodic rod-medium structures.（査読付）	共	1984年12月	*J. Chem. Soc., Faraday Trans. 2.* , **80**, 1599-1618.	Iida, M., Sawatari, C., Matsuo, M. 担当；20%
60.Light scattering studies on the	共	1984年9月	*Macromolecules*, ***17***, *9, 1765-*	Sawatari, C., Iida, M., Matsuo, M. 担当；40%

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
morphology and deformation mechanism of poly (tetramethylene oxide)-poly (tetramethylene terephthalate) block polymer; 2. Rodlike textures.（査読付）			*1773.*	
61.Dependence of molecular orientation, crystallinity, and thermal dimensional stability of poly (ethylene terephthalate) on elongation temperature.（査読付）	共	1983年12月	*Textile Res. J.*, **53**(12), 783-790.	Sawatari, C., Abumiya, N., Inoue, K., Matsuo, M.担当；40%
62.One dimensional mathematical treatment of small angle X-ray scattering from a system of alternating lamellar phases.（査読付）	共	1983年11月	*J. Chem. Soc., Farad. Trans. 2*, **79**, 1593-1605.	Matsuo, M., Sawatari, C., Tsuji, M., Manley, R.St.J. 担当；20%
63.Plasma重合による繊維表面加工に関する研究　第３報　繊維のプラズマ処理による変化について	共	1983年2月	武庫川女子大学紀要　被服編 **30**, 9-24.	安田武，奥野温子，澤渡千枝，吉田恭子 担当；40%
64.Plasma重合による繊維表面加工に関する研究　第４報　高分子材料の表面分子の水浸による回転について	共	1983年2月	武庫川女子大学紀要　被服編 **30**, 25-33.	安田武，奥野温子，吉田恭子，澤渡千枝 担当；30%
65.Deformation mechanism of poly (ethylene terephthalate) film under uniaxial stretching.（査読付）	共	1982年4月	*Macromolecules*, **15**, 4, 988-998.	Matsuo, M., Tamada, M., Terada, T., Sawatari, C., Niwa, M. 担当；20%
66.Oriented crystallization of poly(ethylene terephthalate) under uniaxial stretching.（査読付）	共	1982年4月	*Macromolecules*, **15**, 4, 998-1004.	Terada, T., Sawatari, C., Chigono, T., Matsuo, M. 担当；25%
67.Light scattering studies on the	共	1982年1月	*Macromolecules*, **15**, 1, 193-202.	Matsuo, M., Geshi, K., Moriyama, A., Sawatari, C. 担当；25%

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
morphology and deformation mechanism of poly (tetramethylene oxide)- poly (tetramethylene terephthalate) block polymer.（査読付）				
68.Morphplogical studies on aniso-toropic rodlike textures of poly (butylene terephthal-ate) prepared by molding.	共	1981年2月	*RPPPJ.*, 1981, **24**, 189-192.	Sawatari, C., Matsuo, M. 担当；50%
69.Studies on oriented crystallization of polyethylene terephthalate by small-angle light scattering.	共	1981年2月	*RPPPJ.*, 1981, **24**, 155-158.	Matsuo, M., Terada, T., Sawatari, C., Niwa, M. 担当；25%
その他				
1．学会ゲストスピーカー				
1.セルロース科学と社会	単	2018年1月21日静岡大学理学部	未来の科学者養成スクール「基礎力養成コース」サブレクチャー	高校生向けの講演．セルロースは有史以前から自然の産物として地上に存在し，人類とはきっても切れない関係にある．エジソンの白熱電球のフィラメント，人造絹糸，食品・化粧品の増粘剤などに利用され，また最近はセルロースナノファイバーに大きな期待が集まっている．セルロースの時代ごとの「変身」を分かり易く解説した．
2.女性の活躍とリケジョ ～「リケしず」の取り組みを通しての現状と課題～	単	2017年7月8日(クーポール会館，静岡）	平成29年度佐保会（奈良女子大学同窓会）静岡支部総会 公開講座	「理系女子 夢みっけ☆応援プロジェクト in しずおか」（通称：リケしず）はリケしずは，「理系に興味はあるけれども，不安感もあって一歩が踏み出せない」という女子中学生・女子高校生，とその保護者・先生方を応援するための企画で，科学技術振興機構（JST）「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の採択を受けてスタートした．その取り組みと課題について，過去（女性の労働と社会進出の歴史）を振り返りながら，未来に向けての展望を語った．
3.CNFの用途開発～静岡大学の提案	単	2015年11月5日	ふじのくにCNFフォーラム第2回セミナー	セルロースナノファイバーの基礎，および作成方法と得られるCNFの特徴を踏まえた用途開発について
4.衣生活をプロデュースする-家庭科教育における被服材料の常識とこれから-	単	2012年8月17日	静岡県高等学校教育研究会　平成24年度家庭科部会中部支部研修会	高等学校の家庭科における被服教育をどのように進めるか，最新の衣料素材と他教科との関連を踏まえながら，現代生活に即した授業の提案を行った．
5.線状高分子の超延伸と構造・物性	単	2011年11月9日	三井・デュポン フロロケミカル(株)	線状高分子の理論強度および弾性率と，材料の強度・弾性率との関係について解説した
6.繊維の高次構造と力学的性質	単	2011年8月30日	繊維学会　第42回繊維学会夏期セミナー	学生会員を主対象として，繊維の高次構造と力学的性質の関連を講義した．
7.化学繊維，合成繊維（合成法から加工法-物性）	単	2011年8月30日	繊維学会　第42回繊維学会夏期セミナー	学生会員を主対象として，繊維科学の基礎講座を行った
8.着衣が語るもの～証拠物件としての衣料～	単	2010年9月26日	日本化学会 東海支部化学教育協議会 高校生のための化学講座　犯罪を	高校生を対象に，遺留品としての繊維材料が犯罪捜査において果たす役割と分析法について解説した．

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
１．学会ゲストスピーカー				
9.酢酸菌が生産するセルロースとその利用／最近の話題から	単	2010年1月6日	あばく化学-DNA鑑定と遺留品分析-繊維学会　繊維学会講演会（東海）	酢酸菌が生産するバクテリアセルロースとその用途について講演した
10.酢酸菌でセルロース新素材が創れるか	単	2009年12月22日	三井化学(株)　袖ヶ浦センター，マテリアルサイエンス研究所講演会	酢酸菌が作るバクテリアセルロースの新素材としての可能性について講演した.
11.新しい繊維・プラスチックのはなし	単	2007年9月27日	サイエンスカフェ in 静岡　第９話	一般聴衆を対象に，天然繊維および化学繊維についての最新事情について講演した.
12.先端科学と環境との調和をめざして？被服材料の立場から-	単	2007年8月25日	日本家庭科教育学会　東海地区会	被服材料の基礎と，近年開発が進められているエコ繊維・バイオマテリアルの動向について講演した.
13.超強力ポリエチレンの弾性率および結晶弾性率の温度依存性	単	1992年4月4日	日本機械学会P-SC173熱的極限環境下における固体の変形挙動に関する調査研究分科会	超強力ポリエチレンの熱による物性の低下と構造との関連について，結晶弾性率と材料の弾性率との観点から解説した.
14.高機能性高分子材料-機能と被服材料関連素材への応用例-	単	1987年7月28日	日本家政学会被服材料学部会　第20回夏期セミナー	繊維材料の材料物性と理論物性との関わり，および高次構造との関連について実験例をもとに解説した.
２．学会発表				
1.Improvement of physical properties as a clothing material by combining bacterial cellulose (BC) with edible oil and polyethylene glycol	共	2024年11月28日（京都テルサ）	Abstracts of International Symposium on Fiber Science and Technology 2024 (ISF 2024), P. 294, P052	Uika Oie,　Chie Sawatari
2.食用オイル置換とホットプレス加工による新規レザーライクBC(バクテリアセルロース)	共	2024年7月11日(くまもと森都心プラザ)	セルロース学会第31回年次大会講演要旨集p.98. P048,	老家初果　澤渡千枝
3.着るナタデココ　3種の食用オイルによるバクテリアセルロースのレザーライク化	共	2023年10月14日(近畿大学農学部奈良C)	第45回(通算101回)(一社)日本家政学会関西支部 研究発表会予稿集, p.14, C-03,	老家初果　澤渡千枝
4.Investigation of elasticity of BC/PVA freeze-dried composites and improvement of elasticity	共	2023年9月27日(広島国際会議場)	International Cellulose Conference 2022+1 (ICC2022+1), PA34.	Rie Hioki　Chie Sawatari
5.Effect of tea and sugar on physical properties of kombucha biosynthesized cellulose	共	2023年9月27日(広島国際会議場)	International Cellulose Conference 2022+1 (ICC2022+1), PA10.	Uika Oie,　Chie Sawatari
6.バクテリア生合成セルロースシートの乾燥条件による物性の変化	共	2023年7月14日(兵庫県民会館)	高分子学会第 69回高分子研究発表会(神戸) Pa-19 (高分子学会),	老家初果　澤渡千枝

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
7.ナタデココとPVA(ポリビニルアルコール)の複合化によるウレタンフォーム代替素材の検討	共	2022年11月5日	日本家政学会関西支部第44回(通算100回)研究発表会 2022.11.5（ノートルダム女子大学）	日置理恵　澤渡千枝
8.BC(バクテリアセルロース)ペリクルの弾性改良におけるPVA(ポリビニルアルコール)の複合化効果	共	2022年7月21日	セルロース学会第29回年次大会講演要旨集p.86, P037,2022.7.21（金沢市文化ホール）	日置理恵　澤渡千枝
9.肌着素材のキトサン化学修飾による一般細菌への抗菌性	共	2022年6月25日	繊維製品消費科学会　2022年度年次大会 A-7　研究発表要旨 p. 19（オンライン開催　武庫川女子大学）	日置理恵　澤渡千枝
10.PVA(ポリビニルアルコール)複合化によるBC(バクテリアセルロース)ペリクルの弾性改良	共	2021年9月30日	セルロース学会第28回年次大会（オンライン開催）第28回年次大会講演要旨集p.78. PA26	日置理恵　澤渡千枝
11.セルロースシートへの低分子量キトサンの化学修飾	共	2021年6月11日	繊維学会年次大会（オンライン開催）3D06	日置理恵　澤渡千枝
12.肌着素材の抗菌加工におけるキトサン置換度の向上	共	2020年6月20日	繊維製品消費科学会　年次大会（武庫川女子大学）開催中止	日置理恵　澤渡千枝
13.低分子量キトサン修飾によるセルロース系繊維への抗菌性付与と酸性染料可染化	共	2019年10月26日	2019年度第41回(通算97回)(一社)日本家政学会関西支部研究発表会予稿集，B-01（神戸女子大学教育センター）	日置理恵，澤渡千枝
14.セルロース系繊維のキトサンによる化学修飾	共	2019年7月11日(福岡大学)	セルロース学会第26回年次大会講演要旨集p.189. P125.	日置理恵，佐藤夏姫，八木達彦，澤渡千枝
15.ガンマ線照射を経たePTFE の親水化	共	2018年6月13日（タワーホール船堀）	繊維学会(年次大会)予稿集1C02. 2018.6. 13.	平田好輝，竹本 由美子，八木達彦，澤渡千枝
16.編布の摩擦による損傷と外観特性変化	共	2018年5月27日(日本女子大学)	日本家政学会第70回大会研究発表要旨集 p.118 3G03. 2018. 5. 27.	澤渡千枝，堀江未祐，竹本 由美子
17.化学修飾による繊維への抗菌性の付与	共	2017年12月2日(椙山女学園大学)	東海支部第31回若手繊維研究会（日本繊維機械学会東海支部，繊維学会東海支部，日本繊維製品消費科学会東海支部　共催）	佐藤夏姫，八木達彦，澤渡千枝
18.ガンマ線照射を経た	共	2017年12月	東海支部第31回若	平田好輝，竹本由美子，八木達彦，澤渡千枝

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
PTFE表面の親水化		2日(椙山女学園大学)	手繊維研究会（日本繊維機械学会東海支部，繊維学会東海支部，日本繊維製品消費科学会東海支部　共催）	
19.Relationship between zeta potentials of fiber materials and their affinities to bacterial cellulose.	共	2017年10月19日（九州大学）	International Cellulose Conference 2017 (ICC2017), P-124.	Eri Ichikawa, Tatsuhiko Yagi, Chie Sawatari
20.A scaffold material for cell culture prepared by modifications of bacterial cellulose.	共	2017年10月18日（九州大学）	International Cellulose Conference 2017 (ICC2017), P-173.	Tatsuhiko Yagi, Takayuki Sano, Ryo Mitsui, Eri Ichikawa, Akira Yukita, Chie Sawatari
21.バクテリアセルロースのリシン修飾による細胞足場材料	共	2017年7月13日(岐阜大学)	セルロース学会第24回年次大会講演要旨集 p.55. P011.	佐野隆之，三ツ井 涼，市川恵理，雪田 聡，八木達彦，澤渡千枝
22.セルロースナノファイバーの結晶性評価 (II)	共	2017年7月13日(岐阜大学)	セルロース学会第24回年次大会講演要旨集 p.61. P017.	大長一帆，小野祐子，齋藤継之，磯貝明，澤渡千枝
23.酢酸菌の走行性に与えるNOC上のOH基の状態	共	2016年7月14日(つくばカピオ)	セルロース学会第23回年次大会講演要旨集p.137. P083.	大長一帆，澤渡千枝
24.顕微FTIRイメージング法による高分子フィルムの化学修飾深度解析	共	2016年6月10日（タワーホール船堀）	繊維学会(年次大会)予稿集　第71巻1号CD-ROM 3D11	菅野尚子，井出久実子，山梨夏美，田村克浩，渥美博安，八木達彦，澤渡千枝
25.γ線照射を経た化学修飾によるポリ-L-乳酸繊維の染色性向上	共	2016年6月10日（タワーホール船堀）	繊維学会(年次大会）予稿集　第71巻1号CD-ROM 3D13	山梨夏美，八木達彦，澤渡千枝
26.衣生活領域における素材の学習に役立つ教材の検討 -カルテットゲームの作成と中学校での授業実践を通して-	共	2016年5月28日(金城学院大学)	日本家政学会(第68回大会), 2-I-06,	中谷文香，加賀恵子，澤渡千枝
27.Chemical modification of poly(ethylene terephthalate) fabric by means of γ-irradiation.	共	2016年3月24日（同志社大学　京田辺C）	日本化学会 第96春季年会　IPC-111, 2016. 3.24.	YAGI, Tatsuhiko; TOYOSHIMA, Yukie; SAWATARI, Chie
28.Chemical modification of poly(ethylene terephthalate) fabric by means of γ-irradiation.	共	2016年3月17日(同志社大学　京田辺C)	日本化学会 第96春季年会 4D1-11, 2016. 3.27.	YAGI, Tatsuhiko; TOYOSHIMA, Yukie; SAWATARI, Chie
29.家庭用ミシンにおけ	共	2016年2月	第18回家政学関連	(中野・澤渡)

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
るニット縫製条件の検討		20日(共立女子大)	卒業論文・修士論文発表会(家政学会関東支部)	
30.The behavior of Komagataeibacter xylinus on the coated NOC surfaces.	共	2015年12月1日 Shizuoka	Inter-Academia Asia : The 2nd Conference, Young researchers Conference, Agri-P13	K. Daicho, Y. Abe, C. Sawatari
31.Development of the aromatic wooden teaching material using compress-recovery process.	共	2015年12月1日 Shizuoka	Inter-Academia Asia : The 2nd Conference, Young researchers Conference, Edu-P19	K. Kohga, C. Sawatari, K. Jung;
32.γ線照射を経た PET 布の緑茶染色による抗菌性評価	共	2015年10月25日(武庫川女子大学中央C)	2015年度 第37回(通算93回)(一社)日本家政学会関西支部 研究発表会予稿集, B-08	豊嶋恭衣，澤渡千枝，八木達彦
33.衣生活領域における中学生を対象とした素材の性質を視覚的に学べる教材の検討	共	2015年10月25日（武庫川女子大学中央C）	2015年度 第37回(通算93回)(一社)日本家政学会関西支部 研究発表会予稿集, C-02	中谷文香，澤渡千枝
34.圧縮技術を利用した芳香性木質教材の開発－芳香成分挿入によるにおい持続性評価－	共	2015年8月23日(愛媛大学)	日本産業技術教育学会第58回全国大会講演要旨集 2F33	甲賀健大，澤渡千枝，鄭基浩
35.コーティングされたNOC上での酢酸菌の走行性	共	2015年7月9日(北海道大学)	セルロース学会第22回年次大会講演要旨集 p.57, P006	大長一帆， 阿部由佳里，澤渡千枝
36.γ線照射を経た綿布の緑茶染色	共	2015年7月9日(北海道大学)	セルロース学会第22回年次大会講演要旨集 p.153. P087	豊嶋恭衣，澤渡千枝，八木達彦
37.γ線照射によるポリエステル布の緑茶色素可染化	共	2015年6月12日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第70巻1号CD-ROM 3E04	豊嶋恭衣，八木達彦，澤渡千枝
38.アルデヒド蒸気中でのγ線照射によるポリ乳酸表面への化学修飾	共	2015年6月11日（タワーホール船堀）	繊維学会(年次大会)予稿集　第70巻1号CD-ROM 2E17	新宅江梨奈，山梨夏美，八木達彦，澤渡千枝
39.中学校・高等学校家庭科と他教科の学びとの連携学習～生活実践に活かす被服素材領域の授業提案～	共	2015年3月8日(静岡大学)	第５回教科開発学研究会発表論文集 37-40	中谷文香，澤渡千枝
40.Introduction of functional groups into poly(L-lactic acid) (PLLA) by the irradiation of gamma-ray in the	共	2014年9月29日（東京ビッグサイト）	International Symposium on Fiber Science and Technology 2014 (ISF 2014), PG1-37	E. Shintaku, T. Yagi, C. Sawatari

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
presence of unsaturated compounds.				
41.Gamma-ray irradiation of poly (tetrafluoroethylene-hexafluoropropylene) [TFE-HFP] copolymer.	共	2014年9月29日（東京ビッグサイト）	International Symposium on Fiber Science and Technology 2014 (ISF 2014), PG1-40	S. Watanabe, T. Yagi, C. Sawatari
42.Evaluation on antibacterial activity and deodorization effect of textile fabrics and fibers dyed with green tea	共	2014年9月29日（東京ビッグサイト）	International Symposium on Fiber Science and Technology 2014 (ISF 2014), PG5-16	Y. Toyoshima, A. Nakaya, C. Sawatari
43.プラスチックを使用した「材料と加工の技術」の提案	共	2014年8月23日(熊本大学)	日本産業技術教育学会第57回全国大会講演要旨集　1D21	渡邉翔太，澤渡千枝，紅林秀治
44.圧縮技術を利用した機能性木質教材の開発	共	2014年8月23日(熊本大学)	圧縮技術を利用した機能性木質教材の開発，日本産業技術教育学会第57回全国大会講演要旨集　1E21	甲賀健大，鄭　基活，澤渡千枝
45.天然染色による機能性付加に向けた衣料繊維布の抗菌・消臭効果の評価	共	2014年6月14日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第69巻1号CD-ROM 1P264	豊嶋恭衣，中谷文香，澤渡千枝
46.γ線照射によるポリL－乳酸への官能基導入	共	2014年6月11日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第69巻1号CD-ROM 1F07	新宅江梨奈，八木達彦，澤渡千枝
47.延伸および未延伸フッ素共重合体のγ線照射	共	2014年6月11日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第69巻1号CD-ROM 1F08	渡邉翔太，佐藤優，八木達彦，澤渡千枝
48.肌の衛生・健康から考える被服素材の快適性	共	2014年2月22日（埼玉大学）	第16回家政学関連卒業論文・修士論文発表会(家政学会関東支部)	(中谷・澤渡千枝)
49.共役ジエン共存下でのフッ素系共重合体のガンマ線照射	共	2013年12月21日（豊田工業大学）	繊維学会　第27回若手繊維研究会要旨集 pp. 35-36	渡邉翔太，佐藤優，八木達彦，澤渡千枝
50.衣料繊維布の抗菌性と消臭効果-モデル実験と着用実験の比較-	共	2013年9月6日（豊田工業大学）	繊維学会　秋季研究発表会予稿集 第68巻2号 p.189	豊嶋恭衣，中谷文香，澤渡千枝
51.プラスチック材料を取り入れた学習内容「材料と加工の技術」の提案	共	2013年8月25日（山口大学）	日本産業技術教育学会第56回全国大会	？渡邉翔太（静岡大(院)），紅林秀治(静岡大)，澤渡千枝
52.バクテリアセルロース(BC)と布の複合化における繊維形態の	共	2013年7月19日（京都大学宇治C）	セルロース学会第20回年次大会講演要旨集 p.128	大谷風美里，松本亜弓，小寺智子，澤渡千枝

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
影響				
53.ポリ-L-乳酸のガンマ線照射による官能基導入の検討	共	2013年6月12日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第68巻1号CD-ROM 1PB46	新宅江梨奈，八木達彦，澤渡千枝
54.衣料素材の黄色ブドウ球菌に対する抗菌性	共	2013年5月19日(昭和女子大学)	日本家政学会第65回大会研究発表要旨集 p.164. 2013年5月19日.（昭和女子大学）	澤渡千枝，大津円
55.赤色および緑色LED照射が酢酸菌におよぼす影響	共	2012年7月12日(名古屋大学)	セルロース学会　第19回年次大会講演要旨集 p.129	松本亜弓，新宅江梨奈，畑哲也，森島里菜，望月雄藏，澤渡千枝
56.ポリ-L-乳酸フィルム(PLLA)の水および人工汗による分解機構	共	2012年6月6日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第67巻1号，p.359	小寺智子，加藤翔太朗，澤渡千枝
57.ポリ-L-乳酸フィルムのアルカリ性人工汗による変化	共	2011年6月9日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第66巻1号，p.96	澤渡千枝，加藤翔太朗，飯田祐介，浅野勉
58.ポリ-L-乳酸フィルムの人工汗による変化	共	2010年6月18日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第65巻1号，p.61	澤渡千枝，浅野勉，飯田祐介，神谷亜佑美，望月亜純
59.Poly(L-lactic acid)/bacterial cellulose composites produced under the cultivation of acetobactor.	共	2009年9月28日（信州大学）	The Society of Fiber Science and Technology, Japan 10th Asian Textile Conference (ATC-10)	F. Moriyama, N. Kanno, S. Suzuki, C. Sawatari
60.表面処理を経たポリ乳酸とバクテリアセルロースの培養過程での複合化	共	2009年7月17日(兵庫県民会館)	高分子学会　高分子研究発表会55周年記念講演会予稿集　p.75	森山風美里，菅野尚子，鈴木重好，澤渡千枝
61.酢酸菌が生産するセルロースシートのパンプスインナーへの利用検討	共	2008年8月29日（奈良女子大学）	日本繊維製品消費科学会/繊維学会/日本繊維機械学会　第17回繊維連合研究発表会講演予稿集　p.98	澤渡千枝，白井宏奈，山本綾美，石原夏海
62.NOC表面での酢酸菌の走行に及ぼすコーティング物質の影響	共	2008年7月11日（京大桂C）	セルロース学会第15回年次大会講演要旨集 p.90	森山風美里，山田茉莉，阿部由佳里，澤渡千枝
63.酢酸菌培養過程でのバクテリアセルロースとポリ乳酸編布の複合化	共	2008年6月20日(タワーホール船堀)	繊維学会(年次大会)予稿集　第63巻1号，p.140	菅野尚子，田村克浩，鈴木重好，森山風美里，澤渡千枝
64.ポリ-L-乳酸(PLLA)の化学修飾による天然色素染着性の改良	共	2008年5月31日（日本女子大学）	日本家政学会(第60回大会）研究発表要旨集　p.208	森本綾子，澤渡千枝，八木達彦
65.LED光照射による，酢酸菌セルロース生成への影響	共	2007年7月20日（静岡大学）	セルロース学会　第14回年次大会講演要旨集 p.47	黒坂宏紀，　澤渡千枝
66.バクテリアセルロースの生産性および性質に及ぼす糖アル	共	2007年7月20日（静岡大学）	セルロース学会第14回年次大会講演要旨集 p.70	鈴木理紗，大久保宏美，澤渡千枝

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
コールの影響				
67.酢酸菌培養過程でのバクテリアセルロースとポリ乳酸繊維の複合化	共	2007年6月20日（タワーホール船堀）	繊維学会(年次大会)予稿集　第62巻1号，p.121	菅野尚子，田村克浩，澤渡千枝
68.ポリ乳酸布への紫外線照射を経た官能基導入	共	2007年5月12日(長良川国際会議場)	日本家政学会第59回大会研究発表要旨集 p.206	森本綾子，宍戸悠希，八木達彦，澤渡千枝
69.酢酸菌のポリエチレンフィルム上での走行と産生バクテリアセルロース	共	2006年6月4日（タワーホール船堀）	繊維学会(年次大会)予稿集　第61巻1号，p.103	阿部由佳里，　澤渡千枝
70.原子間力顕微鏡および微生物を用いた高分子表面でのナノサイズ構造構築の試み	共	2005年9月23日(静岡グランシップ)	(依頼講演)　第36回中部化学関係学協会　支部連合秋季大会講演予稿集　p.113	澤渡千枝，阿部由佳里
71.超高分子量ポリ([R]-3-ヒドロキシブチレート)熱ピン延伸試料の構造と物性	共	2003年6月12日（京都リサーチパーク）	繊維学会(第58回年次大会)予稿集　第58巻1号，2C13	飯島尚志，吉村祐介，　澤渡千枝，岩田忠久，土肥義治
72.超高分子量PHBフィルムの加熱延伸法の検討	共	2002年5月23日（太田区産業プラザ）	繊維学会(第57回年次大会)予稿集　第57巻1号，p.295	澤渡千枝，飯島尚志，増田好治，岩田忠久，土肥義治
73.: Characterization of Hydrogen Bonds in O-Methylcellulose / DimethylSulfoxide / Water System by FT-NIR Analysis.	共	2001年7月23日(Mount Holyoke College, MA)	Gordon Conference on the Chemistry of Polysaccharides	Y. Sekiguchi, C. Sawatari, T. Kondo
74.ブタジエン中での紫外線照射によるポリエチレンの機能化	共	2001年5月25日(大阪国際会議場)	高分子学会(第50回年次大会)予稿集第50巻5号，p.872	所　真理，八木達彦，澤渡千枝
75.超高分子量ポリ[(R)-3-ヒドロキシブタン酸]ゲルフィルムの延伸	共	2001年5月23日(大阪国際会議場)	高分子学会(第50回年次大会)予稿集第50巻5号，p.896	澤渡千枝，吉岡香織，岩田忠久，土肥義治
76.ブタジエンガス中でのγ線照射における合成高分子の反応効率	共	2000年5月31日(名古屋国際会議場)	高分子学会(第49回年次大会)予稿集第49巻5号，p.1052	澤渡千枝，中田徳美，八木達彦 ：
77.PEフィルム上に生長させたデンドリマー状多官能基の表面および深さ分布	共	2000年5月31日(名古屋国際会議場)	高分子学会(第49回年次大会)予稿集第49巻5号，p.1053	澤渡千枝，中田徳美，田村克浩，八木達彦 ：
78.溶媒交換温度の異なる条件下で生長したセルロースゲルの構造評価	共	2000年5月29日(名古屋国際会議場)	高分子学会(第49回年次大会)予稿集第49巻5号，p.985	関口裕香，　澤渡千枝，近藤哲男
79.メチルセルロース/DMSO/水系における水素結合形成	共	1999年5月28日（名古屋国際会議場）	高分子学会(第48回年次大会)予稿集第48巻4号，p.771	関口裕香，　澤渡千枝，近藤哲男
80.γ線照射によるポリエチレンの機能化	共	1998年10月2日(名古屋	高分子学会(第47回討論会)予稿集　第	中田徳美，澤渡千枝，八木達彦

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
		国際会議場)	47巻14号, pp. 4263-4264	
81.γ線照射によるポリエチレンの反応メカニズム	共	1998年10月2日(名古屋国際会議場)	高分子学会(第47回討論会)予稿集 第47巻14号, pp. 4262-4263	中田徳美, 澤渡千枝, 八木達彦
82.位置選択置換メチルセルロース溶液における水素結合評価	共	1998年10月1日(名古屋国際会議場)	高分子学会(第47回討論会)予稿集 第47巻12号, pp. 3490-3491	関口裕香, 澤渡千枝, 近藤哲男
83.位置選択メチルセルロースのゲル化機構	共	1998年5月29日(名古屋国際会議場)	高分子学会（第47回年次大会）予稿集 第47巻4号, p.808	関口裕香, 澤渡千枝, 近藤哲男
84.γ線照射後の放置条件がポリエチレンの構造・物性に及ぼす影響	共	1998年5月28日(名古屋国際会議場)	高分子学会（第47回年次大会）予稿集 第47巻4号, p.1009	中田徳美, 澤渡千枝, 八木達彦
85.～151 について記載を省略	共	1997年～1980年		
３．総説				
1.FTIRおよびFTIR-ATR法によるセルロースの測定と解析（セルロースの実験と解析法シリーズ第27回）	単	2014年12月1日	*Cellulose commun.*, 2014, **21**,191-195. 2014, 12.	澤渡千枝 セルロース試料の赤外吸収スペクトル測定に際して，基本的な注意事項と，透過測定/反射測定の長所・短所について解説し，研究への応用例を紹介した.
2.バクテリアセルロースの新素材としての応用	単	2011年6月	日本包装学会誌, 2011, **20**, No.6, 481-486	澤渡千枝 酢酸菌の培養とバクテリアセルロース(BC)の特徴，および異なる繊維形状のセルロース布との複合化の例を紹介した.
3.酢酸菌が生産するセルロースとその利用／ナノからバルクまで	単	2010年2月	*Cellulose commun.*, 2010, **17**,16-21.	澤渡千枝 BCのフィブリル径と，そのネットワークに影響する培地組成の影響や，培養過程での複合化，パンプスの中敷への利用などについて研究結果を基に解説した.
4.環境にやさしい新素材を求めて	単	2003年3月	静大フォーラム創刊号, 2000.3, 36-39.	澤渡千枝 研究室の研究内容についての紹介
5.セルロース系化学繊維の今と昔	単	1998年5月	家庭科教育 72 (5), 68-73.	澤渡千枝 「絹に似た細くて長い繊維」の人工生産を目指して発明されたセルロース誘導体繊維や再生セルロース繊維の歴史を概観.
6.セルロースを主体としたポリマーブレンド（みにれびゅー）	単	1994年4月	海外高分子研究 **40**, 63-64.	澤渡千枝 セルロースと合成高分子の溶液ブレンドにおける分子間相互作用性と相溶性に関する13の文献をレヴュー.
7.衣料用新素材と被服教育	単	1993年2月	家庭科教育 67 (2), 26-29.	澤渡千枝 新合繊が市場に溢れているにもかかわらず，学校教育現場では1960年代の知識が教えられている状況に対しての警告と解説.
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.バクテリアセルロースの物性改良による生活素材化の提案	単	2025年2月10日	武庫川女子大学第9回 研究成果の社会還元に関する発表会 報告集, pp. 57-58.（武庫川女子大学 社会連携推進センター主催）	当研究室で開発した，酢酸菌が産生するバクテリアセルロースを原料とするスポンジ状素材や，皮革様素材を紹介した.
2.JST 女子中高生の理系進路選択支援プログラム事例: 理系女	共	2018年12月	日本高専学会誌 *(Journal of JACT)* 第 23 巻 第	鈴木 静男・喜多 和・寺嶋 茜・上柳 舞弓花・佐野 友里花・宮川 綾音・蔭山 夏美・髙山 ゆりえ・ 西村 賢治・渡邉 志保美・澤井 洋・跡部 千慧・ 澤渡 千枝 ・藤本 晶2016年7月に東レ総合研修セ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
子夢みっけ応援プロジェクト in しずおか “身近にいます理系女子，将来の自分を 想像しよう!”シンポジウム in 三島			4 号（2018）	ンター（三島市）で開催した「JST女子中高生の理系進路選択支援プログラム事例：理系女子夢みっけ応援プロジェクトinしずおか」の三島でのプロジェクトの報告書．沼津高等専門学校と共催．報告書の執筆担当は5%.
3.２）4.1.3.b しわ特性	共	2016年10月	pp. 374-375,牛腸ヒロミ 他編　被服学事典　朝倉書店（2016. 10）	澤渡千枝 布に生じるしわの種類とその発生要因について解説した.
4.女性研究者研究活動支援事業（拠点型）平成27年度活動報告書	共	2016年3月	国立大学法人静岡大学 男女共同参画推進室	平成25年度からH27年度まで実施した文部科学省新規事業，「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）：未来を拓く明日への懸け橋 ～レーンボープラン～」の最終年度報告書を，男女共同参画推進室長としてまとめた.
5.入試方法の異なる学生の追跡調査　入り口と出口，　H26年3月卒業生にみる入試の現状-	単	2014年9月	平成25年度入学者選抜方法研究部会報告 11-23 静岡大学入学者選抜方法研究部会 2014, 9.	澤渡千枝 教育学部学生（平成22年度入学/平成26年3月卒業）の入試方法別の得点と，卒業時のGPA，進路・資格試験の合格率の相間について解析した.
6.入試方法の異なる学生の追跡調査　入り口と出口-	単	2013年6月	平成24年度入学者選抜方法研究部会報告 19-24 静岡大学入学者選抜方法研究部会　2013, 6.	澤渡千枝 教育学部学生の入試方法別の得点と，在学中の学力・GPA・資格試験の合格率の相間について解析した.
7.UV照射グラフト重合によるポリ乳酸編布の親水化,	共	2009年9月	静岡県工業技術研究所研究報告, 2009, 2, 65-67.	菅野尚子，鈴木重好，森山風美里，澤渡千枝
8.酢酸菌培養過程でのバクテリアセルロースとポリ乳酸繊維の複合化	共	2008年9月	静岡県工業技術研究所研究報告, 2008, 1, 29-30.	菅野尚子，田村克浩，澤渡千枝
9.視覚に訴える被服材料の教材-実験キットやデジタルカメラを使った簡単実験二題-	単	2003年5月	家庭科教育，77巻5号，2003 5，73-77.	澤渡千枝 小中高の家庭科教員向け雑誌．布の組織と衣服の暖かさ，肌触り等の関連を理解させる授業およびシックハウス症候群や接触皮膚炎の原因物質であるホルムアルデヒドの簡便な検出実験を紹介した.
10.ポリビニルアルコールの繊維形成におよぼす希釈剤の影響,	共	1997年5月	豊田研究報告No. 50, 1997 5, 97-102.	澤渡千枝，プラトゥアンティプ・パーンバムルン
11.PVA/PEO ブレンドフィルムの構造に及ぼす溶媒および温度の影響	単	1996年5月	豊田研究報告No. 49, 1996 5, 77-82.	澤渡千枝
12.Mechanical and morphological properties of crystalline polymers prepared by gelation/crystallization from solutions.	共	1989年1月	*MRS Int'l. Mtg. on Adv. Mats.*, 1989, 1, 269-274.	Sawatari, C., Matsuo, M.
６．研究費の取得状況				
1.受託研究	共	2024年3月	阪神Gテクノス株式会社高槻事業所	アシストスーツに関する研究
2.基盤研究(B)新規　研究分担者	共	2023年～2025	科学研究費補助金	着衣によるアレルギー症状の誘発機構の解明とかゆみ度の定量化
3.基盤研究(C)新規　研	単	2023年～	科学研究費補助金	循環型社会に向けた微生物産生セルロースの生活素材化

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
６．研究費の取得状況				
究代表者		2025		
4.基盤研究(C)新規　研究代表者	単	2019年～2022	科学研究費補助金	ポリウレタンを代替する弾性エコ衣料素材の創出
5.基盤研究(C)新規　研究分担者	共	2017年～	科学研究費補助金	安全・快適を実現するスマートテキスタイルの創製
6.挑戦的萌芽研究　研究代表者	単	2016年～2018	科学研究費補助金	機能性をもつ「第二の皮膚」への化学的アプローチ
7.挑戦的萌芽研究　研究代表者	単	2011年～2013	科学研究費補助金	元気肌と被服材料の関係を探る
8.生物機能の革新的利用のためのナノテクノロジー・材料技術の開発　研究分担者	共	2002年～2006	農林水産省技術会議	高分子結晶材料表面上へのナノレール作製

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2024年12月～2025年7月	2024年度セルロース学会 学会賞選考委員（主査）
2.2022年5月～現在	TEAM EXPO 2025 共創チャレンジに参加（https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/501）
3.2020年4月1日2021年3月31日	短期大学基準協会 令和２年度認証評価評価員(評価チーム責任者)
4.2019年4月1日～2020年3月31日	短期大学基準協会 令和元年度認証評価評価員(評価チーム責任者)
5.2017年	セルロース学会 第25回年次大会 運営委員長
6.2015年7月～2018年7月	セルロース学会東海支部長
7.2013年8月24日～2013年8月25日	第42回被服材料学セミナー「人と環境にやさしい衣服」～快適性を科学する～ を材料学部会実行委員長として被服衛生学部会と合同開催
8.2013年7月～現在2025年7月	セルロース学会 理事
9.2002年～現在	繊維学会論文編集委員（報文，2016年1月からJournal of Fiber Science and Technology（JFST））
10.2002年～2017年	中学生ものづくり競技大会静岡県大会（家庭分野）　審査委員長
11.1999年9月10日～2000年3月10日	静岡市中心市街地活性化基本計画策定委員会委員
12.1997年6月1日～2000年5月31日	静岡市都市計画審議会委員
13.1993年9月～現在	セルロース学会会員
14.1991年1月～現在	米国化学会会員
15.1988年～現在	日本家政学会 被服材料学部会幹事
16.1981年1月～現在	日本家政学会会員
17.1981年1月～現在	高分子学会会員
18.1980年7月～現在	繊維学会会員
19.1976年4月～現在	日本繊維製品消費科学会会員